

<第2回 若林地域会議 会議録>

日時 令和5年5月26日(金) 19:00~20:45
場所 若林交流館 多目的ホール
出席者 委員 17名
事務局 吉澤副支所長、松原副主幹、川合主査、倉地主事

1 会長あいさつ〈省略〉

2 報告事項

- (1) 第1回若林地域会議の会議録について
→事務局より説明

3 協議事項

- (1) 令和5年度 提言の修正点及び全体の最終確認
→提言書(案)について会長より説明

会長より説明

- ① 提言書の気になる点について、グループ別に協議する。
- ② グループごとに発表する。

グループワーク結果

- A・解決方針を「防災×多世代交流」ではなく、防災を基軸に多世代交流ができるという表現方法にした方が良い。
- ・中長期的に活動をするうえで、見通しを立てることが重要である。見通しを立てるためにロードマップを作成するとよいので、具体的な事業アイデアにロードマップ作成を入れるべき。
 - ・自治区によって特色が異なるため、各自治区に応じた取り組みをしていくべきではないか。
- B・防災士の資格取得は時間等のハードルが高い。簡略化させたテキストを作成し、一通り学習した人には地域独自の防災資格(地域防災士?)を配布してはどうか。
- ・各家庭における防災グッズの充実を図るために、防災訓練に参加した人には防災グッズを支給する。
 - ・小中学校で子どもたちにアンケートを実施し、家庭での防災対策の状況調査をする。何割が対策できているか若林地域独自の統計を作成する。
 - ・(3)②親子参加型イベントの中に、具体的な取り組み内容として、スタンプラリーを追加する。
 - ・防災キャンプを実施する際に、学校に依頼し、子どもたちに対する参加呼びかけに協力してもらう。
- C・防災士を取得した後の人材の活用方法について、具体的な活動方法がイメージで

きないため、防災活動に力を入れている他地域への視察を組み込みたい。

- ・若林地域の中に防災に関する団体が複数あるため、各団体で横のつながりを強め、連携を強化していくべき。
- ・(3) ②親子参加型イベントの中で、より参加人数を増やすために、広告のデザインを充実させることが必要。
- ・若林地域防災訓練で、有事の際に実働する市の職員が参加するとより実践的になる。

D・(1) 地域を支える人づくりの資格取得者とあるが、どの資格を指しているかわからないため、防災士資格取得者に変更すべき。

- ・各組ごとの資格取得者の数に目安を設け、資格取得者を増やす。また資格取得者を中心にイベント運営を行っていく。

〈事務局〉提言の表紙について、若林地域の風景を写真及び絵で添付したいが、若林地域会議として、載せたいものはあるか。事務局としては、高美町の桜並木と名鉄電車が写っている写真が良いのではないかと考えている。

〈委員〉若林駅の高架後の絵があるはずなので、それと桜並木の2枚を添付してはどうか。

〈事務局〉2枚を表紙に添付することとする。

4 その他

(1) 令和5年度 若林地域会議の予定

→事務局より説明

(2) 費用弁償の支払いについて

※1 1月～3月分を4月28日に振込

→事務局より説明

★次回開催

令和5年6月30日(金) 午後7時から 場所：若林交流館 多目的ホール